



## まなびい 掲示板

### ▶私の一句 町民俳句コンテスト作品募集！

今年も町民の皆さんの思いを込めた「私の一句」を募集します。振るってご応募ください。

**募集作品** テーマは設けず「私の一句」として募集します。募集作品は本人が創作した未発表のものに限ります。一人何句でも構いません。

**応募資格** 葛巻町民

**募集期間** 1月27日(月)まで

**応募方法** ①専用の応募用紙が以下の内容を満たす任意様式で応募してください。②応募は1枚につき1作品とします。③作品のほかに、住所、氏名、年齢、性別、職業及び学校名・学年、電話番号を明記してください。④作品及び氏名にはふりがなを付けてください。⑤俳句は有季定型とし、季語及び季節（春・夏・秋・冬・新年）を明記してください。

**応募先** 教育委員会（公民館）

**選考・発表** 選考は委員会を組織して行い、入賞者には2月上旬に通知します。

※詳しくは全戸配付したチラシをご覧ください。

☎教育委員会 ☎66-2111 内線275

## なかよし広場 クリスマス会で交流深める

お母さんたちの子育てを応援するため、毎週金曜日に開催されている「なかよし広場」では12月20日、保健センターでクリスマス会を開催しました。

この日のクリスマス会には親子ら15人が参加。保育士による絵本の読み聞かせやサンタクロースからのプレゼントなど、親子で楽しいひとときを過ごしました。

皆さんも「なかよし広場」に参加して、お母さん同士、子ども同士の交流を深めませんか。

**【開催日時】** 毎週金曜日、9時～11時30分

**【開催場所】** 保健センターや保育園など（広報カレンダーでご確認ください）



保育士による絵本の読み聞かせに静かに聞き入る親子ら①  
突然現れたサンタクロースに驚きながらプレゼントを受け取る子どもたち②



①ロコモティブシンドロームを予防するための運動をする参加者の皆さん ②スライドを使って説明する葛巻病院の佐々木崇理事 ③病气やけが予防について説明する健康福祉課職員

町女性団体連絡会（柴田幸栄会長）主催の第28回町女性のつどいは12月1日、グリーンテージで行われ、会員ら84人が参加し、元気で明るい町の未来を創っていくことを誓いました。

午前は、葛巻病院の佐々木崇理事が「健康いきいき葛巻町25～冬場に怖い病气・けが」と題して、自身が脳卒中で倒れた時の経験を交えながら、冬場に起こりやすい病气やケガについて講演しました。

午後には、東北電力(株)盛岡営業所職員による電気料金値上げについての講話が行われました。参加者は震災以降値上げに至った経緯や電気料金の仕組みなど、普段疑問に思っていることを知ることができました。続いて、健康福祉課職員が「ロコモティブシンドロームについて」と題して、病气やけがなどを予防するための運動指導について講話しました。

つどいの最後には、町婦人連絡協議会の坂待悦子さん（小田）が「女性ならではの視点と創意を持ってまちづくりに参画します」と女性のつどい宣言をし、閉会しました。

# 第28回町女性のつどい 女性のパワーで活気ある町づくりを

## 平成26年度 くずまきカレンダー 広告募集

町民の皆さんへの情報提供と地域経済の活性化を図るため、平成26年度「くずまきカレンダー」に広告を掲載していただく事業所などを募集します。

**掲載料** 1号広告（縦5.0cm×横7.5cm） 5,000円  
2号広告（縦5.0cm×横15.0cm） 10,000円

**発行部数** 3,100部（4色刷り、町内全戸配布）

**募集期間** 1月6日(月)～1月31日(金)

▶広告掲載を希望される事業所などは、教育委員会へお申し込みください。  
なお、定数に達したところで募集を締め切らせていただきます。



☎教育委員会 ☎66-2111 内線275

## 公民館 図書室から 本の紹介

★開館時間：午前8時30分～午後7時  
★休館日：年末年始



**『ハル 哲学する犬』**  
フォン・デウオン 作  
満たされているのにほしがったり、忙しいのを理由に一日一日を大切にせず、流されるように生きている私たちに、本当に大切なものは何かを教えてください。蓮池薫さんの訳が、繊細で輝きに満ちた言葉で、読む人の心を癒やしてくれる1冊です。



**『がまんのケーキ』**  
かがいひろし 作  
美味しそうなケーキを目の前に、こいたろうくと、かめぞうさんは「がまんがまん！」。大好きなケーキが帰ってくるまで「がまん！」です。「がまんっていうのはね、とっても大切な人のためだからできるんだよ」とケーキを前にもだえる2人に大笑いしつつも、ほっこりさせられる絵本です。



**『手ぶくろを買いに』**  
新美南吉 作  
雪の朝、子狐の冷え切った手を握りながら、母さん狐は手ぶくろを買ってやろうと思いつきます。夜になって母さん狐と子狐は、手袋を買いに人間の住む町へと向かいます。全編にちりばめられた様々な光の描写が美しく描かれている、名作絵本です。